

団体名 ひとり親パートナーズ

見守り活動のタイトル：

ひとり親家庭の自立に向けた生きる力を育む機会を創出する

キャッチコピー

目指すのはひとり親家庭の「パートナー」

“ちょっと困った” “だいじょうぶ” が言い合える日常からの関係構築を目指す

一人ひとりが望む生き方を実現するために既存の支援や資源も組み合わせ・予防型伴走支援

代表：田中 佐緒

住所：高松市出作町382-1酒井ハイツ110(NPO法人子育てネットひまわり内)

連絡先：087-816-7700

ウェブサイト：https://peraichi.com/landing_pages/view/kagawahitorioya

団体活動開始：2020年3月

見守り活動の概要

☑️食料支援、☑️イベントや講座の実施 ☑️個別相談・相談支援 ☑️サークル活動

- 食料品や日用品・学用品などの
- 子どもの育ちを応援するイベントや体験活動、親たちの学びとなる各種講座を実施中
- 集団の中で親も子ども育ちあう場づくり
- LINEやメール、オンラインでの相談対応、対面での個別相談はたかまつ地域子育て支援コーディネーター(利用者支援事業)と連携して対応している

見守りエピソード/ストーリー

- ・日々、一人で生活を回すという心細い状況で活動に参加すると人のあたたかさにふれ頑張っていこうと勇気づけられます。物がいただけることも嬉しいですが、必要な情報や支援を得る事ができ、一緒に考えてくれる人がいることで、今の状況が少しずつ改善されている気がします。
- ・活動に参加してスタッフさんと話をしていると「また1か月頑張ろう」という気持ちになります。コロナ禍という孤独感から抜け出せるんでしょうね。
- ・ボランティアで運営をサポートするという役割がとても楽しみです。支援を受けるばかりではなく、自分にもできることがあること、役に立てていることが気持ちを前に向けてくれます。
- ・今まで不要な人付き合いはお金もかかるし避けてきました。この活動に出会って、情報のやりとりをする新たなコミュニティができた。こういう人との付き合い方があるんだなと知りました。

活動写真



見守り活動のポイント

- 物を渡すことはアウトリーチの手段 つながった後の奥深い支援を最初から意識
- 子どもたちの育ちを応援 体験不足など「できなかった」というあきらめの改善へ
- 身近な支援者であること 目の前のその人の「ありのまま」を一旦受け止める姿勢
- できていることを認め、分からないことを整理し、本人主体で一緒に解決する伴走型支援
- 「ちょっと困った」「少し心配」からつながる予防型支援
- 必要に応じて連携機関につなぎ 本人の課題解決に向けて一緒に動く

見守り活動をはじめた背景

【活動のきっかけ～新型コロナウイルス感染症拡大と全国一斉休校～】

- 2020年4月 緊急事態宣言したで各所で開催されていた子ども食堂や支援の場が通常の活動が難しくなり、新たな支援の体制づくりが必要となったため
- ひとり親パートナーズの前身となる「香川ぼしふしの会」のライングループに生活困窮や子育ての負担感を訴える声が届くようになり、コロナ禍におけるひとり親家庭の支援の強化の必要性を感じたため
- コロナ禍において学校行事やイベントが激減し、ひとり親家庭と一般的な世帯の体験格差による子どもの育ちへの影響が心配されたため
- コロナ禍においてひとり親家庭の課題の多様化・複合化が見られるようになったことで支援体制の強化、関係機関の連携の必要性を感じたため

対象／頻度／内容

(1) 配布会

- 対象者：ひとり親世帯やそれに準ずる世帯
- 対象世帯：750世帯 2023年3月1日現在LINE登録者
- 場所 地域子育て支援拠点「ひまわりはうすところ」、国分寺北部コミュニティセンター、高松市民防災センター、香川県母子寡婦福祉連合会館 など
- 頻度 2ヶ月に一度
- 内容 食品や日用品の無料配布、相談支援 など

(2) 講座やイベントの開催

- 対象者：ひとり親世帯やそれに準ずる世帯
- 対象世帯：750世帯 2023年3月1日現在LINE登録者
- 場所 地域のコミュニティセンターや交流センターなど
- 頻度 月1回程度 不定期
- 内容 親子イベント、子どもの体験活動、親のスキルアップにつながる講座、座談会、フリマイベントの開催

(3) サークル活動の支援

- 対象者：ひとり親世帯やそれに準ずる世帯
- 対象世帯：10世帯
- 場所 高松市民防災センター
- 頻度 月1回程度
- 内容 季節のイベント、体験活動、交流会など

見守り活動において抱えている課題

<ヒトに関わる課題>

前提：運営スタッフは全員別に本業あり

- 仕事量の増加 通常の業務に加えての対応が増えている
- 通常の業務とのすみわけの難しさ
- 土日の活動増 休日、休養日の確保が難しい場合も

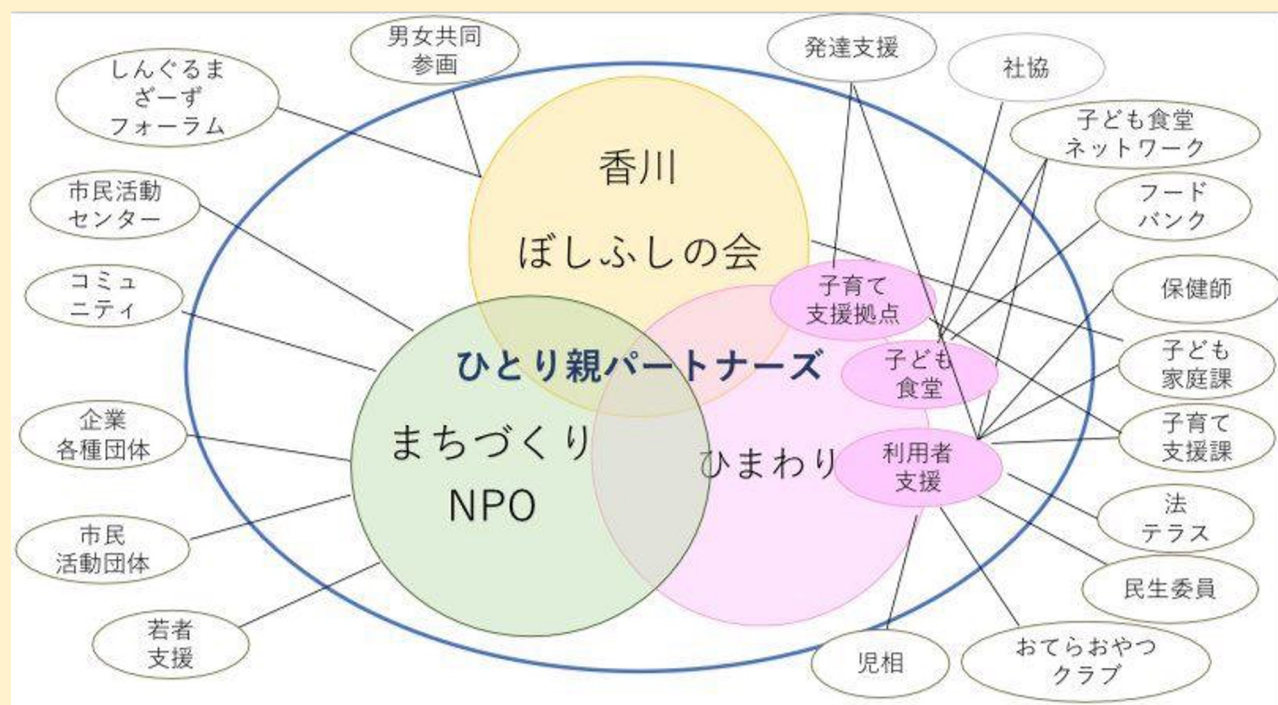
<モノに関わる課題>

- 保管場所の限界 急な物資の受け入れなどに対応できるスペースがない

<カネに関わる課題>

- 活動資金の確保 管理費の確保が難しい助成金などが多い

見守り活動を行う組織体制図



他団体との連携

●協力企業・各種団体

(株)ダイナム・餃子の王将グループ・JA香川県・さぬきマルシェ・アミチャーベーカリー、堤製パン、K'sベーカリー・おかえり子ども食堂・高松市仏教会・認定NPO法人おてらおやつクラブ・(株)寿産業・遠藤食糧・(株)コープ自然派・NPO法人フードバンク香川・(株)カプコン・NPO法人チャリティーサンタ・カタログハウス・通販生活・(株)アサヒ飲料・高松ゾンタクラブ・高松キワニスクラブ・一般社団法人アートオブリビング・香川大学教育学部附属高松小学校・香川県ヨット連盟・NHK高松放送局

●主な連携機関

特定非営利活動法人子育てネットひまわり・さぬき市子育てサロンふらっと・b&g丸亀・認定NPO法人さぬきっずコムシアター・特定非営利活動法人子育てネットくすくす・小豆島子ども・若者支援機構 ホットスペース「ショウZ」・認定NPO法人わははネット
香川県社会福祉協議会・高松市社会福祉協議会・高松市・香川県・香川県母子寡婦福祉連合会・国分寺北部コミュニティセンター